



学童保育のあ」だより 2022年度6月号

今後の予定

📅 母の日、父の日プレゼント取組は17日が最終日

📅 6/18(土)土曜保育8:00~19:00

★6/19((日))「ほたる観賞会」(荒井沢市民の森)

19時半集合 特別養護老人ホームライフコート

さかえ前駐車場付近

📅 6/20(月)桂台小、小菅ヶ谷小1日保育8:00~

📅 6/4、18、7/2、16、30(土)

ユトリ一口こども食堂 12:00~

誰でも利用可(限定20食)要予約

7月9日(土) 10時~保護者会

おけいこ事も継続しています



♠ お抹茶 (月1回水曜日) (第2水) 成澤先生

6月8日、7月13日、8月10日、9月14日

♠ お習字 (お抹茶以外の水曜日) Tomieと一緒に

♠ そろばん (毎木曜日) 初江さんが指導

♠ ジェニーと遊ぼう (毎金曜日) フォニックスとゲーム

♠ サラ&アンドリュウ英会話

6月初めに米国から戻られました。英会話教室再開に向け調整中です

左:1年絞り染め巾着 中央・右:2年以上タイル貼りコースター



野七里花の里ガーデンは
まるで「天空の花園」



のあインターナショナルス
クールのうらやま
手作りアスレチック

栄区桂台西1丁目30-7

☎ 080-7084-3710

✉ gkdnoah@gmail.com



運営 特定非営利活動法人

のあインターナショナルスクール

URL <https://www.noah-is.jp/>

●5月中旬から母の日・父の日のプレゼント作りを取組みました。約1か月かけてじっくり取り組むスタイルは、もう受け入れられません(ここ10年以上前から)良く言えば「短期集中型」、悪く言えば「めんどくさいから早く終わらせたい」という感じで、やる気になればチャチャッと終われるように声かけや手順の簡素化に努めることがスタッフ側に求められます。それでも出来上がってみれば、やっぱりプレゼントはプレゼント、大体の子どもがメッセージカードを書くのを拒まず、こちらもチャチャッと書く子、心込めて丁寧に書く子いろいろでした。さて、家庭でのお母さん、お父さんの反応はどうだったかな?(お休みが続いた子や取組を後回しにして来た子たちは今週中に追い上げます)

●お話会 週に2回程度夕方のミーティングでお話会をします。最近では戦争と平和にまつわるテーマの本や今昔の有名な人物の本に絞って読みました。2週間前から金曜日のお話会で「大泥棒ホッツエンプロッツ」も少しずつ読み続けています。

*谷川俊太郎「へいわとせんそう」*グレートウンベリ「わたしたちの台所が火事です」*「マララとイクバル パキスタンのゆうかんな子どもたち」

「ナイチンゲール」「ヘレンケラー」

●近所のNさんから「ノアのはこぶね」(絵本)をいただきました。最近学童のあ玄関ドアの張り紙をゴミ捨ての際にご覧になって、不要なカレンダーを届けてくださいました。その時「のあという名前はノアの箱舟ののあですか?」と問われ、はい、そうですと答えると、スピアのととても素敵な画をご存知ですか?とも。いえ知りませんと答えると、では持ってきますよとおっしゃり、日を置かずに上記「ノアのはこぶね」を持って来られて、自分の息子さんにも孫にも与えた、学童にもプレゼントします。応援していますよと言って戻っていかれました。学童応援団が近所に現れた!と感謝!!

そして、別のご近所さんもやはり張り紙を見て不要になったカレンダーを届けてくださいました。

●5/30(月) 上郷小代休で1日保育、長靴持って、割りばし、タコ糸、煮干し、バケツ等々準備万端で六反町公園に向かいました。近くの小川を探索、5ミリほどの小さな小さなエビはいたものの、目指す大きなザリガニ君は皆無、昨年は面白いように採れたのになあ、柳の下にいつもドジョウはいない、、、、ということ？お昼はセルフ杜に行って、好きなパンを昼食代わりに食べて満足、しかし他のお客さんもいる中で、お行儀はなかなかのものでした。

●6/2(木) 開港記念日1日保育、14人出席、桂台南から階段を上り右折、すぐのところ去年見つけた桑の木に近づいて、桑の実を食べることになっていた、しかし他よりうんと大きな実がなっていてびっくりした。去年の記憶に反して、今年の実は普通サイズで、大きな実が食べられると楽しみにしていたYんも期待外れ、次は皆城山、山と言っても桂台小学校裏の小高い展望台と言った方が良いかも知れない、そこから桂台～上郷～庄戸、港南台が見渡せる、遠くみなとみらいのランドマークタワーも見えるが、どうってことないその展望台よりも直前の篠竹のトンネルがいい、現生から異空間へ抜けるトンネルのように感じる場所、桂台南に戻って野七里に向かう、全員文句なく機嫌よし、それほど態勢を乱さずに歩けるのに驚くほど。のあインターナショナルスクールでトイレ休憩、スクールそばの階段を上りながら保育園の小さなイチゴ畑に踏み入ってはイチゴを探して集める、食べる、、階段を上り切ったところが「花の里ガーデン展望台」、まるで「天空の花園」、満開は過ぎてしまっているが色々な種類のバラたちがまだ咲き誇っている、オルレア、ガザニア他の花々も。日除けテントを開いて、お弁当タイム、、、、天気よし、風好し、いい時間が過ぎる。食後下に降りてスクールで裏庭と呼ばれている手作りアスレチックへ、昨年より遊具が増え立派な野性味あふれるアスレチックに進化していた。

下：花の里展望台でお弁当
右：篠竹のトンネル



右：「郷」での見学 点滴や介護ベッドの説明を聞く



杉浦正明編著

「児童精神医佐々木正美のこぼの森」から引用
＜愛情＞P11～15

◆子どもには条件つきでない愛情をかけてあげることだ。愛情に条件はない。この次は頑張りなさいというのは、時として現状の否定であり、条件である。

◆子どもは自分を好きにならなければ、友だちを好きになれない。自分のことを好きになれる子どもは、十分に愛されている子どもである。十分にとは、できるだけ条件をつけないでということである。何かがよくできるようになったら喜んであげるなどという、親の身勝手な愛や欲望にもてあそばれることがないように・・・である。

ここでタイヤブランコや上に滑車のついたロープでターザンのように飛ぶ、それぞれが思う存分楽しめた、ここは本当にいいところだと感動。いつもスクール周りの営繕作業をされている森さん、尾崎さん、箕輪さんにも会え、珍しい木の枝を粉碎する機械での作業を手伝わせてもらうこともできた。2時半頃現地出発、疲れも出て来て、歩きがボチボチになり先頭集団から遅れる子も、励ましながらヨーカドーを目指す、ここでギブアップしては110円のおやつ買い体験がパーになる、頑張ってたどり着く。ヨーカドーの店先で4グループに分かれ、1人ずつ110円を握って駄菓子コーナーへ、制限時間は15分、たし算がスムーズにできず苦労している子も、日頃の不勉強が？邪魔をし、大人が暗算やスマホで計算してあげるシーンあり。YくんとXくんは買い物上手、半端に残った16円で小袋の天つゆを買い、学童の冷凍庫にあるご飯を解凍して食べるという、何と現実的と感心する。桂山公園のベンチでそれぞれリクエストした100円アイスを頼んで満足満足、いよいよ学童へ向かって歩みだして終わりかと思っていたところ、桂台中学校そばの「郷」に寄って(NちゃんとUちゃんの母職場)手を振ろうと窓からのぞき込んだところ、所長さんが「中に入って見学していきませんか？」と、断るのも申し訳なく、お邪魔することに、「郷」の施設全館ツアーが始まってしまった。普段会う機会の少ない重度の障害の子どもたちがそれぞれ楽な体勢で和んでいる様子も見せてもらい、その日一日自由に歩き回った子どもたちは何を感

じたでしょう。